

●国交省 第2回自動車整備技術の高度化検討会

去る11月2日に第2回目の自動車整備技術の高度化検討会が経済産業省で開催されました。

今回の検討会では、2011年12月12日～2012年2月17日の期間に、標準仕様機40台(4機種×10台)を使った実態調査を行う事が発表されています。

この調査に参加する事業場は、整備振興会50、電装品整備商工組合30、車体協30の計110工場で、期間中に5000件の診断結果を集めるとしています。

使用される標準仕様機は汎用スキャンツール普及検討会の定義に基づき、4社の製品が選ばれているようです。(社名は明らかにされていませんが、H社・D社・B社・S社だと思われます)

また、あわせて自動車検査独立行政法人でも標準仕様機の性能テストを実施する事も発表されました。検査法人では排ガスに関わるOBD検査の導入可能性を検討していますが、検査時における操作性や故障コード検出時の対応等についてテストされるものと思われます。

これで検査項目のOBD検査追加がまた一歩進む事になるのかもしれませんが。

次回の検討会は2012年1月の予定。

第2回 自動車整備技術の高度化検討会

日時:平成23年11月2日(水) 10:30～

場所:経済産業省別館11階 1111号会議室

議事次第

1. 開会
2. 汎用スキャンツールの標準仕様と調査
3. 資格制度の活用方策
4. 整備技術の高度化に向けた諸課題
5. 閉会

○ 配付資料

- 資料1: 検討会委員名簿
- 資料2: 配席図
- 資料3: フィージビリティスタディの調査結果について
- 資料4: 標準仕様機を使用した調査について
- 資料5: OBDを活用した検査の高度化に関する調査について
- 資料6: 大型車(ディーゼル商用車)のスキャンツールWGの活動報告
- 資料7: 資格制度活用WGの活動報告
- 資料8: 整備技術の高度化に向けた諸課題について
- 資料9: 今後のスケジュール(案)

検査項目にOBD検査が追加されることになるのか？

追加されるとすれば、標準仕様機は指定工具になるのか？

整備士の資格制度に変化はあるのか？

整備の現場はどう変わっていくのか？

しっかりと見極める為にも、この検討会から目が離せません！！

第3回の資料を入手次第、このニュースでお知らせしたいと思います。